

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	神戸市公共下水道事業～ひと・都市・地球環境を守り育てる下水道をめざして～													
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	神戸市													
計画の目標	安全・安心・快適な市民生活と健全な都市活動を支え、良好な水環境を形成するとともに、循環型社会・地球環境保全を進め、魅力ある神戸のまちの想像に貢献する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		638	A	638	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	再生水供給区域を、平成31年度までに13ha増加させる。 再生水事業実施率 再生水事業実施区域面積 / 対象面積（13ha）	0%	%	100%
2	消火ガス有効利用率を76%（H26）から85%（H31）に増加させる。 消火ガス有効利用率 有効利用量 / 発生ガス全量（H31末：38,000m <sup>3</sup> /日）	76%	%	85%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	管渠(	-	市内(8処理区)管きよ施設(未普及対策)	玉津処理区 200mm L=1.3km m 他	神戸市						338		-	
	A07-002	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	市内(8処理区)管きよ施設(水環境保全)	P I 処理区 75mm L=0.4km 他	神戸市							100		-
	A07-003	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	市内(8処理区)処理場施設(資源循環形成)	玉津処理場 消化ガス有効活用 他	神戸市							200		-
											小計							638		
											合計							638		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
令和3年度 神戸市建設事業外部評価委員会	令和3年度
	公表の方法
	神戸市ホームページに記載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 下水処理水を高度処理した再生水の供給区域を増加することで、トイレや散水等の利用による有効活用を図り、貴重な水資源の確保を行うとともに循環型社会の形成に貢献した。</li> <li>・ 汚泥処理の過程で発生する消化ガスの有効利用を進めることで、CO2排出量が削減され、地球温暖化対策に貢献した。</li> </ul>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共下水道の未普及区域の管渠整備を進めることで、良好な水環境の形成に貢献した。</li> </ul>
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再生水供給区域におけるトイレや散水等の更なる利用を促進し、貴重な水資源の確保及び再生水の有効活用を図る。</li> <li>・ 消化ガスの利用用途の拡大等により更なる有効利用を進めることで、CO2排出量の削減を図るとともに再生可能エネルギーによる持続可能な社会の構築に貢献していく。</li> </ul>	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	再生水供給区域を、平成31年度までに13ha増加させる。再生水事業実施率：再生水事業実施区域面積 / 対象面積（13ha）	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	消化ガス有効利用率を76%（H26）から85%（H31）に増加させる。	
	最終目標値	85%
	最終実績値	86%